

飼料の用途別名称の定義

1) ストック【研究検定用】

「Stock diet」から由来し、エネルギーを低めに抑え過肥を抑制する配合設計にしておりますので通常の飼育試験の他、実験開始前や繁殖待機中の動物の維持、穏やかな繁殖を前提とするコロニーの維持、毒性試験に伴う長期飼育などに適した飼料です。

※ ハムスター用、モルモット用は販売しておりません。

2) スタンダード【研究検定用】

「Standard diet」から由来し、成長期・繁殖期・授乳期を含む各ステージに渡って飼育する場合に適した標準飼料です。エネルギーは比較的高めに配合設計しておりますので、授乳期の母体の高いエネルギー要求量を満たし、繁殖を円滑に行なえるようにしています。一般繁殖の他、世代試験にも適しています。

※ ウサギ用は販売しておりません。

「ストック」「スタンダード」とも、全ての動物ステージに渡り、一貫して使用することができますが、動物ステージに応じて「ストック」「スタンダード」を使い分けると、よりエネルギー要求量に適した飼育が可能になります。

3) ブリーダー／グロワー【生産用】

「Breeder」「Grower」に由来し、実験動物の経済的な生産を目的とした飼料です。

4) その他の用途別名称（例）

「ラボ MR-A1」 エネルギー含量や、動物ステージ以外の特長を持つ飼料の場合、試作当時の呼称番号がそのまま名称に用いられていることがあります。